



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
(群馬県勤労福祉センター2F)
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

発行人 金子 裕昭
編集人 鈴木 誠
2013年8月号
No.220

2014年度 政策・制度要求と提言を論議！

8月3日、「2014年度政策・制度要求と提言」(素案)に対する意見集約を行うため、政策フォーラムを群馬県勤労福祉センターで開催し、産別・単組、地協や議員懇など129名が参加しました。

フォーラムでは政策策定の礎となる「県民意識調査」の集計結果と特徴点、「2014年度政策・制度要求と提言」の素案を新井副事務局長より提案し、参加者との意見交換を行いました。

今年の県民意識調査集計結果は、1990年の調査開始以降、継続して行っている設問「心配事・困り事・関心事」の回答が、昨年までトップの「自分や家族の老後」と、第2位の「生活費や収入」とが初めて入れ替わりました。第3位には「雇用や職場環境」が続いていることから、生活に関する不安が高まっていることがうかがえます。



要求素案を説明する新井副事務局長

このような結果を受けて、「2014年度政策・制度要求と提言」には、雇用・労働と福祉・社会保障を重点として盛り込み、8分野22項目にまとめ、参(詳細は次号へ掲載予定)

【参加者との意見交換】(抜粋)

Q1. 福祉・社会保障に、医療と介護の機能分担と連携による良質で「切れ目のない地域医療体制の確立」とあるが、現状としては確立されていないのか？

A1. 今後ますます高齢化が進むことが予測されるため、医療と介護の機能分担や連携が懸念されるといった意味合いで策定しました。継続・強化に修正します。

Q2. 投票率向上に向けた対策として「期日前投票」を行った場合、特典として商品券などを配布することはできないのか？

A2. 制度上行うことは難しいと思います。



熱心に説明に耳を傾ける参加者

加者からいただいた補強意見を踏まえ修正し、8月28日に群馬県知事へ提出する予定です。

第2部の講演会では、公契約条例の制定で各市町村への統一要求として昨年展開し、県内で制定第1号となつた前橋市の事例について、丸山貞行市議より「公契約条例制定の経過と必要性について」と題した講演が行われました。

連合群馬の組織内議員で構成している市民フォーラムでは、平成18年に公契約条例の前身となる民間委託に対する自治体が講すべき対策について前橋市議会で取り組みを行っていました。当初は、「各事業の予算規模が多額になる」といった意見や、「入札制度で対応できる」と反対意見が多く、制定には至りませんでした。

そのような中、連合本部が作成した資料「公契約条例をつくろう」を基に、各議員に必要性の理解を求めしたことや、市長の選挙公約に公契約基本条例の制定が挙げられていたことから、理念条例として「公契約基本条例」が制定されました。



丸山市議による事例報告

前橋の場合は、理念条例であり細かい内容については今後の課題となっています。しかし、前橋の事例を参考にしつつ、県内への波及を期待したいと思っており、他市町村へ波及することによって、前橋の条例の中身もより良いものになっていくと言う相乗効果をはかり、引き続き取り組むことを共有しました。

【公契約とは？】

国や県市町村の事業（工事・サービスの提供・物の購入）を民間企業などに委託する際に結ぶ契約を言います。

核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を求めて ～平和行動in広島

平和行動in広島を、8月5～7日に開催し、産別から8名が参加しました。

1日目は、現在も現役で走っている「被爆路面電車」の乗車学習会への参加や、「2013連合平和広島集会」で折鶴4,000羽を献納、「平和の光」ではペンライトを持って原爆ドームを囲み、平和を誓い合いました。

2日目は、「広島市原爆死没者慰靈式・平和祈念式」に参列し、原爆投下のあつた8時15分に黙とうを捧げました。その後、平和記念資料館を見学し、戦争の歴史や原爆投下後の悲惨な状況などを学びました。

最終日は、ピースボランティアの解説により平和記念公園内の慰靈碑等について学び、平和の子の像へ折鶴7,000羽を献納しました。その後、被爆体験講話として、平和記念資料館の9代目館長を務められた原田浩さんから、6歳の時に広島駅で被爆した当時の様子や現在の資料館建設を手掛けたことなどについて話を聞きました。

今回の行動では、被爆体験講話を2度聞くことができ、語り部の方々が高齢化と原爆症による病気を抱え、命を懸けて被爆体験の証言を行い、核兵器廃絶を訴える姿が印象に残りました。



平和の光に参加し、平和への祈りを捧げる

戦争の体験を次世代へ

8月1～19日に群馬県勤労福祉センター、2～6日に県庁県民ホールで、戦争の記録や連合群馬の平和行動を紹介する平和パネル展を開催し、両会場合わせて1,200人を超える来場がありました。

勤労福祉センターでは、連合群馬の平和行動の紹介を中心に約40点、県庁では地上戦が行われた沖縄の記録や原爆投下後の広島・長崎の被害についての記録の他、太田市空襲時に墜落したB-29に関する資料、空襲で焼失した前橋市内の写真、北方領土の歴史や不法占拠の実態の解説など約120点の資料を掲示しました。

来場者の中には、空襲を体験された方がいて、「若い人達に戦争についてもっと知つてもらいたい」と話し



鶴を折る子どもたち

次世代へ語り継ごう被爆地長崎の思い ～平和行動in長崎



ピースウォークにて
平和祈念像の前で平和を祈る

平和行動in長崎を、8月8～10日に開催し、産別・地協から14名が参加しました。

核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を求めるため開催された連合主催の集会では、「2015核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議へ向けた課題と対応」と題した基調講演が行われ、長崎大学核兵器廃絶研究センターの廣瀬副センター長から、今年4月にジュネーブで開催された核不拡散条約(NPT)再検討会議準備委員会で提出された「核兵器の非人道性を訴える共同声明」に、日本政府が署名しなかつたことを取り上げ指摘していました。また、高校生平和大使の取り組み報告では、「ビリヨクだけどムリヨクじゃない!」をキャッチフレーズに活動し、被爆地長崎の若者の平和に対する真剣な願いを訴え、国連に大きな影響を与えていたことなどについて報告がありました。さらに、連合長崎の組合員と家族約100名による「構成詩 親子で綴る平和の願いVII」では、恒久平和と核兵器廃絶への思いが込められた歌と被爆体験などが朗読されました。

また、組合員に協力いただいた24,309名分の「核兵器廃絶高校生1万人署名」を現地の高校生へ届け、27,000羽の「折鶴」の献納を行うと共に、ピースウォークや長崎市主催の祈念式典へ参加し、被爆地長崎の核兵器廃絶の思いを受け止め、職場や地域へ伝えることを心に誓いました。

～恒久平和を願いパネル展を実施～



戦争の生々しさを伝えるパネルに見入る来場者いました。また、空襲後の壊滅した都市の写真をゲームの画面だと思い込んだ子どもに、「昔、本当にあつた戦争の写真だよ」と説明する両親の姿もありました。

本パネル展は、沖縄・広島・長崎などの戦跡を、直接見聞きすることができない方々へ、戦争の悲惨さと平和の大切さを知ってもらい、恒久平和を願う気持ちの醸成を目的に、群馬県教職員組合と北方領土問題対策協会、太田で活動するトンネルの会などの協力を頂いて開催しました。



地方交付税をめぐる動向を学習 ●●臨時総会で塚原新代表就任●●

時節の課題解決をはかるための研修や意見交換としての議員懇学習会を、7月29日に渋川市内で開催し、連合群馬議員懇から35名が参加しました。

地方交付税の減額による、地方財政の動向について、神奈川自治研センター上林理事長を講師に招き「人事院制度を無視した給与削減を含む地方交付税の削減の問題点と公務員給与を参考としている地場中小を含む地方経済への影響」について講演を行いました。

また、群馬県教職員組合より、健康増進計画によって集団健診となった「フツ素洗口」について、問題点を共有し、議会で提起することを確認しました。

終了後の臨時総会において、塚原新代表および後藤新幹事長、黒沢前代表の顧問就任を提案し、新役員体制を確認しました。



多数のテーマに意見交換する議員



地方財政の動向を語る
上林理事長

(GO!) 連合群馬ふれあいフェスティバル 総括会議 開催



総括案を説明する
高草木副事務局長

今年度のふれあいフェスティバルを締めくくる総括会議を、8月20日にアニバーサリーコートラシーネで開催し、産別・地協から52名が参加しました。

はじめに、高草木副事務局長から各地協の取り組みについて一括して報告し、続いて、各地協から補足を含めた感想が述べられました。

主な意見として、「参加してくれる団体が多くなり、フェスティバルが地域に根付いている」、「来場者の増加に伴い献血への協力も増え、社会貢献につながった」、「他団体の行事と重ならないよう、開催日の設定を考慮する必要がある」、「女性の来場者を増やす企画を取り入れたい」など、今年度の結果や次年度へ向けての考えが述べられました。

その後、今年度のフェスティバルについて、県連合の総括案を発表し、参加者全体で共有しました。



藤岡地協の取り組みを説明する飯塚議長

参議院選挙の総括へ向け 民主党県連との意見交換会

連合群馬四役と民主党県連との意見交換を、8月6日に連合群馬会議室で行いました。

意見交換では、民主党群馬県連から、「参院選の総括を通じて、統一地方選に向け民主党を立て直し、勤労者・生活者の声を政治に反映させるべく、忌憚のないご意見をお願いしたい」と発言があり、連合群馬からは、「新人候補にもかかわらず、5月からのスタートとなり、実質3か月の選挙戦となってしまった。早い段階から連合と連携できる候補者の育成を連合群馬と民主党群馬県連で計画的に考えていかなくてはいけない。選挙戦を進めるにあたっては、一部地区選対では、連合地協まかせの活動になってしまった」との意見が出されました。



粘り強い活動を!
北川会長

今後は、党員サポーターとの連携強化として、意見集約の場を設定することの必要性や、市町村における民主党の地域組織の確立について議論していくことを共有しました。

震災復興支援カンパ803,663円集約!

5月に開催した連合群馬ふれあいフェスティバルの各会場で、東日本復興支援カンパを募る取り組みが行われ、合わせて803,663円が集まりました。

集まったカンパ金は、日本赤十字社群馬県支部を通じ、支援金として被災地で復興活動を行っている団体へ届けさせていただきます。

群馬高退連 囲碁将棋大会

組織を超えた交流

群馬高退連の囲碁将棋大会を7月3日、県勤労福祉センターで開催し、各単会から会員24名が参加しました。



次の一手は…?

囲碁の部では21名が級位または段位に分かれ、将棋の部では3名が総当たりでの白熱した対局が行われ、組織を超えた交流をはかることができました。

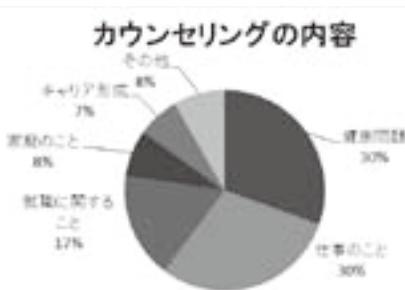
	順位	氏名	単会
囲碁の部 Aランク	優勝	栗原 忠継	NTT労組退職者の会
	準優勝	新嶋 一也	群退教
	3位	宇野 誠一	大同互助会
囲碁の部 Bランク	優勝	亀田 三男	県庁退職者互助会
	準優勝	八高 裕	大同互助会
	3位	関口 清	NTT労組退職者の会
将棋の部	優勝	石川 勝	県庁退職者互助会

職場での悩み事もお気軽に相談を！

ライフサポート
相談ダイヤル

連合群馬が取り組んでいる、ライフサポートぐんまの相談件数は、2009年8月から相談を開始し、2013年7月には延べ1,994件の相談件数となりました。

内容は、健康問題や仕事のことが全体の60%を占めています。特に職場での人間関係の相談は多く、仕事の上での行き違いやコミュニケーション不足などの要因で、ストレスやプレッシャーを受け流すことができず、うつ病になってしまうケースも多く見られます。



また、不景気で就職難、雇用不安などの社会情勢の中、働きたくても仕事が見つからず、面接にこぎつけても何度も落ちてしまうといった相談が寄せられています。さらにはせつ

かく仕事に就いたのに職場に馴染めず職を転々してしまうといった相談も多く見られます。

いろいろな悩みに、専門のカウンセラーが親切丁寧に対応しています。長期にわたって相談を受ける中で、気持ちの変化や就職に結びついたケースもあります。話することで、気持ちがすっきりします。考え方の前に、お気軽にお電話してください。

ライフサポート相談ダイヤル

- メンタルヘルスやキャリア開発に関するカウンセリング
- 専門のカウンセラーが親身になって相談に応じます
- 予約による面談も行っています
- 相談日：毎週木・土曜日(祝祭日は除く) 14:00～19:00

フリーダイヤル 0120-797-052

カウンセラー
紹介

私たちが相談を
お受けします！



大小原利信



大澤 直子



柳田 陽子

イベント 参加者募集中！

連合群馬では10・11月行事の参加者を募集しています。産別を通じて連合群馬へお申し込みください。

ディーセントワーク世界行動デー

非正規労働者の雇用・労働の課題をテーマに、誰もが働きがいのある人間らしい仕事ができる社会の構築を目指しましょう！

日 時：10月11日（金）18:30～19:45

場 所：高崎シティギャラリー ハローフォーラム

内 容：集会およびアピールウォーク

※ディーセントワークとは、働きがいのある人間らしい仕事という意味です

森林整備ボランティア

環境保全や自然に親しむことを目的に開催します。優良な森林を維持させましょう！

日 時：10月12日（土）9:30～11:45

場 所：前橋市嶺公園（前橋市嶺町）

内 容：風倒木伐採、下草刈りなど（小雨決行）

労福協 海外植林ボランティア

苗木の植林と現地小学生および村民との交流

日 時：11月7日（木）～11日（月）

場 所：マレーシア・ボルネオ島

参加費：170,000円前後／人（予定）

※労福協事務局へお申し込みください

電機連合

●どんな活動をしていますか？

全体で取り組む活動と分野ごとの活動（組織政治・教育宣伝・労働福祉・総務企画）に分け、全役員が担当を担うことで、活動の活性化に取り組んでいます。

毎年1月に「総合労働条件改善闘争学習会」を開催し、連合をはじめ産別の基本方針や取り巻く情勢等について認識を深める場として、今年も200名を超える職場役員と一緒に学習しました。



●組織構成や特徴を教えてください。

電機連合は、電機・電子・情報関連産業およびその関連産業の労働組合を結集した組織（全日本電機・電子・情報関連産業労働組合連合会）です。

6月1日時点での構成組織は、31単組、組織人員13,515名が連合群馬に加盟しています。

活動の一例紹介